

瀬田川プランクトン調査結果速報

滋賀県立衛生環境センター
琵琶湖水質担当
昭和54年9月25日 第24報

植物プランクトン

(綱) 種 名	細胞数 (群体数)	優占種(占有率)	
		数	体積
(藍) <i>Aphanothece clathrata*</i>	160	○	
(藍) <i>Chroococcus</i> sp.*	60		
(藍) <i>Lyngbya</i> sp.*	20		
(珪) <i>Melosira granulata</i>	140		○
(珪) <i>Stephanodiscus carconensis</i>	20		
(珪) <i>Nitzschia acicularis</i>	20		
(渦) <i>Gymnodinium</i> sp.	20		
(褐) <i>Cryptomonas</i> sp.	40		
(緑) <i>Carteria</i> sp.	20		
(緑) <i>Pediastrum biwae</i>	10240	◎	◎
(藍) 藍藻綱	240	2.2	0.9
(黄) 黄緑藻綱	0	0.0	0.0
(黄鞭) 黄色鞭毛藻綱	0	0.0	0.0
(珪) 珪藻綱	180	1.7	2.8
(渦) 渦鞭毛藻綱	20	0.2	0.2
(褐) 褐色鞭毛藻綱	40	0.4	0.6
(み) みどり虫藻綱	0	0.0	0.0
(緑) 緑藻綱	10260	95.5	95.4
(他) その他のプランクトン	0	0.0	0.0
総細胞数	10740	総体積	1.07E+07
種類数	10	(μm^3)	

- 注1) 細胞数の単位は(細胞/ml)
ただし * 印の種は群体数(群体/ml)
- 注2) 優占種は◎が第1優占種、○が第2優占種
数字は各綱ごとの占有率(単位:%)
- 注3) 細胞体積は、顕微鏡観察による画像から
試験的に推定した概算値である。

植物プランクトン優占種

第1優占種		細胞数 (細胞数/ml)
緑藻綱	<i>Pediastrum biwae</i>	10240

第2優占種		細胞数 (細胞数/ml)
藍藻綱	<i>Aphanothece clathrata*</i>	160

植物プランクトン第1優占種



Pediastrum biwae
(ピワクンショウモ)
緑藻綱

16, 32, 64細胞からなる群体を形成する。各細胞は1本の角状突起を持ち、突起同士が対をなすのが特徴である。琵琶湖の固有種とされ、ピワクンショウモと呼ばれている。

植物プランクトン第2優占種



Aphanothece clathrata*
(アファノテーケ)
藍藻綱

細胞は、長楕円形で長さ3.5~4.5 μm 、幅0.6~0.2 μm 。非常に多数の細胞が寒天質の中に集まり、群体を作る。群体はいろいろな形がある。琵琶湖では北湖で夏秋に多く見られる。